

交通安全とやま



No.402 令和8年夏号

発行者／公益財団法人富山県交通安全協会・交通安全活動推進センター

ピンを倒さないように慎重に走行する児童（スラローム走行）



第59回交通安全こども自転車富山県大会

交通安全への提言



富山県警察本部
交通部長
古川 秀治

富山県交通安全協会の皆様をはじめ、関係各位におかれましては、平素より交通安全活動の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、地域に根差した交通安全活動や街頭指導、広報啓発活動など、県民の安全・安心の確保に御尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、県内の交通事故情勢を見ますと、昨年の交通事故発生件数が25年ぶりに増加に転じ、死者数及び負傷者数についても前年を上回る結果となりました。特に、高齢者が被害に遭う交通事故が依然として多く発生しており、交通事故死者数に占める高齢者の割合が約8割と全国で最も高い状況にあります。高齢者の交通事故防止対策が喫緊の課題であると認識しております。

本年に入り、交通事故の発生件数は前年を下回る水準で推移しておりますが、その一方で、悪質・危険な交通違反に起因する重大事故が発生しております。3月には国道8号において著しい速度超過による死亡事故が発生し、6月には北陸自動車道において、酒気帯び運転の事業用トラックが道路工事作業中の作業員をはねるといった痛ましい事故が発生いたしました。交通ルールを軽視した危険な運転は、一瞬で尊い命を奪い、社会全体に計り知れない影響を及ぼすことを改めて痛感しております。

また、本年施行された自転車に関する法

改正に伴い、自転車利用者への交通ルールの周知と遵守の徹底がこれまで以上に求められています。自転車は身近で便利な移動手段である一方、利用方法を誤れば重大な事故につながるおそれがあることから、関係機関・団体と連携しながら、交通ルールの周知と交通安全意識の向上に取り組んでいます。

このような情勢を踏まえ、高齢者対策につきましても、高齢者自身が安全な行動を実践することが重要であると考え、県警察では、危険な交通行動が見られる高齢者に対する街頭での直接指導のほか、交通安全教育車等を活用した参加・体験実践型の交通安全教育を推進しております。

また、悪質・危険な交通違反に対する交通指導取締りを強化することとしており、「可搬式オービス」を活用した速度違反取締りを拡大するとともに、7月15日からは、「歩保笑み隊（ほほえみ隊）」を再び設置し、歩行者保護に向けた街頭活動を強化してまいります。さらに、自転車の交通違反に対しても適切に対応するため、自転車利用者も多く集まる「自転車指導啓発重点地区・路線」を中心に街頭活動を展開し、交通ルールの定着を図ってまいります。

交通事故のない「日本一安全で安心して暮らせる」とやまの実現に向け、貴協会をはじめ、関係機関・団体の皆様と更なる連携を図り、交通安全に関わる課題に真摯に対処してまいります。引き続き、皆様方の御尽力と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本誌が交通安全意識の高揚の一助となることを期待するとともに、会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、巻頭の御挨拶といたします。

第59回交通安全こども自転車富山県大会を開催しました

～団体は福光南部小学校、個人は高田明選手が優勝しました～

7月5日(日)9時より富山市高島の運転教育センター並びに自転車練習コースにおいて第59回交通安全こども自転車富山県大会（主催：当協会・県警察本部、後援：県交通対策協議会・県教育委員会）を開催しました。

この大会は、児童が競技を通じて自転車運転の知識や技能を身に付けるとともに交通安全意識を向上させ小中学校の交通安全リーダーとして交通事故防止を図ることを目的として県内13警察署を代表する小学校（13小学校51人）が参加し毎年この時期に開催しています。

出場した選手等は暑い中で競技に真剣に取り組む、結果、団体の部は南砺市立福光南部小学校チームが個人の部は高田明選手（滑川市立北加積小学校6年）が優勝しました。

団体優勝した南砺市立福光南部小学校チームの4人の選手は、8月10日(月)に東京都内で開催される全国大会に当県代表として出場します。入賞したのは次の方々です。

【団体】 優勝：南砺市立福光南部小学校チーム
三位：富山市立大広田小学校チーム

準優勝：氷見市立比美乃江小学校チーム

【個人】 優勝：高田明（滑川市立北加積小6年）
3位：森井瀬夏（南砺市立福光南部小6）
5位：佐藤華衣（滑川市立北加積小6年）
7位：林美典（富山市立堀川南小5年）
9位：竹田琴羽（砺波市立庄南小6年）

準優勝：土倉和香（南砺市立福光南部小6）
4位：尾崎海里（射水市立中太閤山小5年）
6位：山崎愛華（氷見市立比美乃江小6年）
8位：藤井結人（砺波市立庄南小6年）
10位：湯浅愛子（南砺市立福光南部小6年）



団体準優勝：氷見市立比美乃江小学校チーム



団体優勝：南砺市立福光南部小学校チーム



団体三位：富山市立大広田小学校チーム



学科テストに真剣に取り組む児童たち



見通しの悪い交差点で一時停止し確認する児童



交通機動隊によるデモンストレーション走行

※TSMマーク付帯保険の有効期間は1年です。毎年1回は点検整備を受けて、TSMマークを更新しましょう。

安心が広がるためにあなたに代って保険会社が示談交渉を行います。さらに、安心が広がります。ただし、自転車の搭乗者が業務中の場合は、対象外となります。（保険金は支払われません。）

安心の示談交渉サービス
緑色TSMマークはすべての人身事故の相手賠償責任補償の対象となります。賠償責任補償の限度額は1億円。安心が広がります。

もしもの時に安心
TSMマークが貼付された自転車であれば、原則どなたが運転しても補償の対象となります。

誰が運転しても補償の対象
年齢に制限なし
年齢に関係なく、どなたでも入れます。

手続きは簡単
お近くの自転車安全整備店で、点検整備（有料）を受けTSMマークを貼ってもらいましょう。

安全運転に心がけましょう。
自転車は自動車と同じ車両です。きちんと点検整備した安全な自転車で、ルールを守り安全運転に心がけましょう。

もしもの自転車事故に備えてTSMマークを！
自転車は運行によって人の生命又は身体が害された場合における損害を補償することができる保険又は共済（TSMマークも該当します。）

【加入義務対象者】
・自転車利用者（未成年者の場合は保護者）
・事業活動において自転車を利用する事業者
・自転車貸付事業者

【自転車損害賠償保険とは】
自転車の運行によって人の生命又は身体が害された場合における損害を補償することができる保険又は共済（TSMマークも該当します。）

富山県では10月1日(木)から自転車損害賠償保険等への加入が義務化されます。

富山県では10月1日(木)から自転車損害賠償保険等への加入が義務化されます。

富山県では10月1日(木)から自転車損害賠償保険等への加入が義務化されます。

横断歩道一時停止

“止まってくれてありがとう”運動“推進中”

信号機のない横断歩道で渡ろうとする歩行者がいる場合、車は一時停止

J A F（日本自動車連盟）が毎年8月に全国一斉に調査している、信号機のない横断歩道における横断歩行者等

がいる場合の自動車の一時停止率調査で昨年富山県は60・9%で全国22位でした。一昨年のワースト31・6%は脱却したもののさらなる上昇につなげるために当協会、F Mとやま、及び県安全運転管理者協会では、更なる歩行者優先意識醸成のため6月22日(月)から8月28日(金)の間、「横断歩道一時停止」止まってくれてありがとう運動」を実施しています。

ラジオ放送で啓発CMを朝夕の通勤時間帯中心に放送するとともに、ふう風亭みるみるさんがパーソナリティを務めるラジオ番組「水曜日のひなたぼっこ」内で交通安全に関する川柳の募集を行う等多方面から信号機のない横断歩道での一時停止（歩行者優先）を県民に呼びかけます。

ラジオ放送で啓発CMを朝夕の通勤時間帯中心に放送するとともに、ふう風亭みるみるさんがパーソナリティを務めるラジオ番組「水曜日のひなたぼっこ」内で交通安全に関する川柳の募集を行う等多方面から信号機のない横断歩道での一時停止（歩行者優先）を県民に呼びかけます。



県内の事業所に卓上三角柱POPを配布し、一時停止を呼びかけます。

横断歩道は歩行者優先です！

○ドライバーの皆さん

信号機のない横断歩道での歩行者優先はマナーではなくルールです。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合は、一時停止し通行を妨げないようにしてください。

○歩行者の皆さん

ハンドサインで運転者に横断歩道を渡る意思を伝えましょう。また、止まってくれたドライバーに「ありがとう」の気持ちを伝え渡りましょう。

信号機のない横断歩道での交通事故が1件でも少なくなるよう県民の皆さんのご協力をお願いします。

詳しくはこちら▼



FMとやまHP

「ありがとう」の気持ちを伝えるとドライバーはもっと優しい運転をしようという気持ちになるんだね。



とやまくん



令和8年度

交通安全ファミリー

作文コンクール」作品募集中

皆さんの家庭をはじめ、学校、地域等において、交通安全について考え、話し合った内容や方法、その結果実行していることなどを作文に書いて応募してください。

応募締切

令和8年9月11日(金)当日消印有効

応募区分

小学生の部 中学生の部

副賞

図書カード

詳しくはこちら▼



当協会HP

令和9年使用

交通安全年間

スローガン(標語)」募集中

社会の交通安全意識を高め、交通事故を減らす目的で、スローガンを募集します。

最優秀作は令和9年春と秋の全国交通安全運動で使用するポスターのスローガンになります。

応募締切

令和8年8月31日(月)当日消印有効

応募部門

一般部門A(どなたでも応募可)

運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの

一般部門B(どなたでも応募可)

歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

子ども部門(中学生以下のみ応募可)

賞(予定)

最優秀賞…賞状と賞金5万円など

詳しくはこちら▼



当協会HP

令和8年9月1日から

生活道路での法定速度が

変わります

・中央線がある道路は法定速度60km/h
・中央線等がない道路は30km/h
となります。

なお、速度規制標識がある場合は、標識ごとの速度となります。
※生活道路とは、住民の日常生活で利用されている、中央線等のない道路の事を言います。



(公財)富山県交通安全協会

第22回評議員会(定時)の開催

去る6月10日(水)富山電気ビルにおいて第22回評議員会(定時)を開催し、次の各議案について決議しました。

- (1) 令和7年度事業報告(案)について
 - (2) 令和7年度収支決算(案)について
 - (3) 役員(理事・監事)の選任(案)について
 - (4) 評議員の選任(案)について
- また、次の事項について報告しました。
- (1) 令和8年度事業計画について
 - (2) 令和8年度収支予算について
 - (3) 令和8年使用「交通安全年間ポスターデザイン」の入選作品について



各地区の交通安全活動状況

これらの活動は皆様方からいただいた協力金・賛助金で行っています。
これからもご理解とご協力をお願いいたします。



各地区の交通安全活動は
こちらからもご覧
になれます。

◆高岡交通安全協会◆



高岡交通安全少年団員が考えた標語「それアウト! 片手にスマホ 自転車でも」を記したシールを市内で営業するタクシーに貼付し自転車乗車中のスマホ利用禁止を呼びかけました。

◆立山町交通安全協会◆



幼保連携型認定こども園むつみ幼稚園において行われたトヨタモビリティ富山㈱「第4回傷害保険付きティモティキーホルダー」寄贈式にあわせて交通安全協室を開催しました。

◆黒東交通安全協会◆



シートベルト着用と横断歩道での歩行者優先を呼びかけるため「シートベルトするチャ(茶)・横断歩道止まるチャ(茶)」と記したお茶とチラシを往来する運転者に配布しました。

◆氷見市交通安全協会◆



交差点を通る運転者等が、花を見ることで心が和み、交通安全に繋がればとの思いを込め氷見警察署前交差点に設置してある「ふれあい花壇」で花の植替え作業を行いました。

◆富山中央交通安全協会◆



管轄する保育園等の年長児童を対象とした交通安全教室を行いました。児童は横断歩道マット等を利用して交通事故にあわないよう安全な横断歩道の渡り方を学びました。

◆黒部市交通安全協会◆



「スピードダウンと歩行者確認で、安全にはし(走)りましょう」と銘打ち、お箸(はし)を配布し交通事故ゼロを呼びかけるキャンペーンを行いました。

◆砺波市交通安全協会◆



庄東認定こども園において、トヨタ交通安全教材贈呈式が行われました。交通安全紙芝居の読み聞かせ等で横断歩道の渡り方を学んだ園児は、交通ルールを守ることを誓いました。

◆富山南交通安全協会◆



通学通勤で南富山駅を利用する自転車利用者等に、自転車の交通違反に青切符が導入されることを記した交通安全チラシ等を配付して交通ルール遵守を呼びかけました。

◆魚津市交通センター◆



魚津水族館のホタルイカ展示と連携し反射材の着用を呼びかけるキャンペーンを行い、交通安全と記した魚津市名産のかまぼことチラシを配布しました。

◆南砺市交通安全協会◆



市立山野保育園の年長園児6名を「やまのキッズポリス」に委嘱しました。キッズポリスは、今後当協会の行う交通安全イベント等に参加し住民に交通事故防止を呼びかけます。

◆富山西交通安全協会◆



富山西警察署において富山商業高校書道部員による交通安全書道パフォーマンスが行われました。部員等は交通安全メッセージを大きな紙にしたため無事故を呼びかけました。

◆滑川市交通安全協会◆



2024年6月9日以降、滑川市で交通死亡事故が750日間発生しなかったことを受け、当協会が事故防止に貢献したとして県警より、感謝状が授与されました。

◆小矢部市交通安全協会◆



当協会と小矢部警察署が委嘱するメルヘンポリス(石動西部こども園年長園児)と共に、地域住民等に交通安全チラシと啓発グッズを配布し、交通安全を呼びかけました。

◆射水交通安全協会◆



秋に行う交通安全啓発企画「事故へつちまえ作戦」で使用するヘチマの苗を児童らが学校花壇に手植えました。収穫後にヘチマ水を作り前記作戦で地域住民に配布する予定です。

◆上市区域交通安全協会◆



上市町横越の県道を往来する運転者に「チョコっとでも飲むなら乗らないNOハンドル!!」と記したチョコと啓発チラシを配り、飲酒運転撲滅を呼びかけました。